

令和6年度 果樹茶業研究会
「落葉果樹研究会」「寒冷地果樹研究会」「果樹病害研究会」「果樹虫害研究会」
開催要領

1. 開催趣旨

落葉果樹・寒冷地果樹及び果樹病害虫に係る試験研究の問題を取り上げ、技術情報の交換、研究課題の整理、研究手法の深化等を図る。また、果樹関係試験研究機関等の研究者相互の連携の強化や試験研究の効率化に資するため、本研究会を開催する。

2. 主催

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構植物防疫研究部門

3. 参集範囲

【公開】の会議については、農林水産省、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関、普及指導機関及び大学等の関係者を対象とする。

【非公開】の会議については、農林水産省の関係者、国立研究開発法人及び公設の試験研究機関の研究者及び主催者が必要と認める者を対象とする。

4. 研究会の開催概要

令和6年度果樹茶業研究会は現地開催とします。

各研究会の開催日時以下の通り

会議名	開催日時	開催場所
全体会議	令和7年1月28日（火） 9：50～12：00	つくば市 つくば国際会議場 中ホール
落葉果樹研究会	令和7年1月28日（火） 13：20 ～ 1月29日（水） 12：00	つくば市 つくば国際会議場 中ホール
果樹病害研究会	令和7年1月28日（火） 10：00 ～ 1月29日（水） 12：00	つくば市 つくば国際会議場 大会議室101
果樹虫害研究会	令和7年1月28日（火） 10：00 ～ 1月29日（水） 12：00	つくば市 つくば国際会議場 大会議室102
寒冷地果樹研究会	令和7年1月23日（木） 9：00～12：00	盛岡市 いわて県民情報交流センター(アイーナ)

5. 参加申込方法

別紙1の「令和6年度果樹茶業研究会・出席申込書」に、必要事項を場所ごとにとりまとめ、農研機構果

樹茶業研究部門研究推進部研究推進室宛に令和6年12月13日（金）までに申し込んで下さい。

注）並行して開催される「果樹・茶系統適応性検定試験成績検討会（落葉果樹）」に出席の方もこの申込書をご利用いただいて結構です。

6. 問合せ先

○出席申し込み・果樹茶業研究会全般に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門研究推進部研究推進室

E-mail : kikaku-fruit04@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6451

○落葉果樹研究会に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域 児下 佳子

E-mail : koshita@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6461

○果樹病害研究会に関する問い合わせ

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 須崎 浩一

E-mail : kcsuzaki@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6156

○果樹虫害研究会に関する問い合わせ

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 新井 朋徳

E-mail : gaityuu@naro.affrc.go.jp 電話 : 029-838-6548

○寒冷地果樹研究会に関する問い合わせ

農研機構果樹茶業研究部門果樹生産研究領域 岩波 宏

E-mail : ringo-fruit@naro.affrc.go.jp 電話 : 019-645-6155

7. その他

○ 各研究会の要旨は、事前にダウンロードできるように参加登録者にお知らせします。

○ 令和7年1月28日～29日に開催される「落葉果樹研究会」「果樹病害研究会」「果樹虫害研究会」につきましては、果樹・茶系統適応性検定試験成績検討会（落葉果樹）との合同交流会を1日目（28日）夕方に開催いたします。出席希望者は、出席申込書（別紙1）を利用してお申し込みをお願いいたします。

出席申込書（別紙1）は以下のURLからダウンロード可能です。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

全体会議

「果樹生産におけるAI活用の展望」

令和7年1月28日（火） 9：50～12：00

【趣旨】

令和6年6月14日に可決、成立した「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用促進に関する法律案」においては、基幹的農業従事者が今後20年間で約1/4にまで減少するとの予測に対する強い危機感を背景に、「ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産等を実現する新たな農業」であるスマート技術を農業へ積極的に活用する方針が示された。本法律において、「スマート農業」は、データ等に基づき「認知、予測、判断または動作にかかる能力」を担うものと定義されている。

一方、果樹の生産作業は集約的で、特に果実品質に直接関わる重要な作業はその成否に生産者の経験が大きくものを言うため、これまで機械化・自動化のボトルネックとなってきた。今後のAI技術の発展により、「認知、予測、判断または動作」の代替やノウハウ化が進めば、果樹生産における機械化・自動化が飛躍的に進展する可能性がある。

そこで本研究会では、果樹生産現場におけるAI利用に向けた研究現状について概観するとともに、果樹・園芸作物における農研機構の研究事例について検討する。

【あいさつ】 農研機構果樹茶業研究部門所長 井原 史雄

【話題提供】

1) 農業におけるAIの活用

農研機構農業情報研究センター 村上 則幸

2) トマトやイチゴの生育収量予測技術について

農研機構野菜花き研究部門 礒崎 真英

3) AIを利用したモモ樹の水ストレス画像診断技術の開発

農研機構果樹茶業研究部門 山根 崇嘉

4) 農業用追従ロボットの開発と果樹園における利用

農研機構農業機械研究部門 塚本 隆行

5) 総合討議

落葉果樹研究会

「最近の落葉果樹の諸問題の解決に向けて」

令和7年1月28日（火）13：20 ～ 1月29日（水）11:20

【趣旨】

落葉果樹の栽培分野に関連して、樹種別にナシ、ブドウ、カキ、核果類の4つ、樹種共通として、気象・温暖化、土壌肥料の2つ、の合計6つのセッションを設け、最近のトピックス等の話題を提供し、情報共有と論議を進めることで、落葉果樹栽培分野のより一層の推進を図る。

【話題提供】

① カキ

令和7年1月28日（火）13:20～14:00

1)「カキ果実の肉質を選果場やほ場で評価できる携帯型果実硬度測定装置の開発」

岐阜県農業技術センター 鈴木 哲也

2)カキわい性台木「豊楽台」の開発

農研機構果樹茶業研究部門 西村 遼太郎

② 核果類

令和7年1月28日（火）14:00～14:40

1)モモ「つきあかり」の高品質栽培技術開発

和歌山県果樹試験場 有田 慎

2)もも「あかつき」および「なつっこ」における台木別（「払子」、「ひだ国府紅しだれ」）の樹体生育と収量ならびに果実品質

長野県果樹試験場 森 幸穂

-----休憩 20分-----

③ ナシ

令和7年1月28日（火）15:00～16:20

1)ナシ受粉樹における花粉採取効率を高める手法

埼玉県農業技術研究センター 島田 智人

2)ナシ花粉採取用樹の低樹高ジョイント仕立てによる早期成園化及び機械を用いた効率的な花粉採取法の検討

佐賀県果樹試験場 児玉 龍彦

3)新品種「玉水」のジョイントV字トレリス樹形における定植後 5年目までの樹体生育、果実生産性および省力・軽労効果

福岡県農林業総合試験場 松本 理央

4)ナシ「甘太」におけるポリエチレン袋を利用した長期貯蔵方法

熊本県農業研究センター果樹研究所 鶴田 純子

④ 気象・温暖化

令和7年1月29日（水）8:50～9:30

- 1) 落葉果樹に対する凍霜害の影響と対策－福島県における対策の現状－
福島県農業総合センター果樹研究所 佐久間 宣昭
- 2) 果樹の温暖化による気象被害予測システムの開発－ブドウにおける着色不良予測について－
石川県農林総合研究センター 田村 茂之

⑤ ブドウ

令和7年1月29日（水）9:30～10:30

- 1) ブドウ「シャインマスカット」の副梢摘除による副梢管理作業の省力化
宮崎県総合農業試験場 加治屋 優希
- 2) ブドウ根域制限栽培における東京型環境制御システムの開発
東京都農林総合研究センター 杉田 交啓
- 3) ブドウ苗木の安定生産技術の開発
岡山県農林水産総合センター 渡辺 真帆

-----休憩 10分-----

⑥ 土壌肥料

令和7年1月29日（水）10:40～11:20

- 1) クリ幼木の凍害の発生要因の解明と対策技術の開発
岐阜県中山間農業研究所中津川支所 佐藤 里奈
- 2) 水田転換園の土壌改良による果樹凍害対策について
石川県農林総合研究センター 山内 大輔

果樹病害研究会

「果樹細菌病のプロジェクト研究成果と今後の展望」

【趣 旨】

果樹の栽培環境変化や品種の変遷等により近年、果樹類の細菌病発生が注目される場面が多い。細菌病に対しては防除資材が限られていることから病気の伝染環を断ち切るためには総合的に対策を行う必要がある。現在、バラ科果樹、キウイフルーツを対象に近年問題となった細菌病への対策を目的としたプロジェクト研究が実施され、いくつかの重要な成果が得られている。本研究会では「バラ科果樹急性枯死症」および「キウイフルーツ花粉除菌技術」を題材に果樹細菌病についての理解を深めるとともに新たな防除技術についての情報共有を図るとともに今後の展望について意見交換を行う。

【開催日時】

令和7年1月28日（火）10:00 ～ 1月29日（水）12:00

【開催場所】

つくば国際会議場（エポカル） 大会議室101

【検討事項】

1) 重点検討課題「果樹細菌病のプロジェクト研究成果と今後の展望」【非公開】

「（仮題）バラ科果樹における急性枯死症の概括」（10:10～10:40）

佐々木 厚子（農研機構植防研）

「（仮題）リンゴにおける急性枯死症の発生とその対策」（10:40～11:10）

猫塚 修一（岩手農研）

「（仮題）モモにおける急性枯死症の発生とその対策」（11:10～11:40）

桐野 菜美子（岡山農研）

「（仮題）ニホンナシにおける急性枯死症の発生とその対策」（11:40～12:10）

前田 貢輝（佐賀果試）

「（仮題）キウイフルーツの花粉除菌技術について」（14:00～14:30）

須崎 浩一（農研機構植防研）

「（仮題）除菌済みキウイフルーツ花粉で生産した果実の品質」（14:30～15:00）

岡田 雅道（愛媛農林水産研果樹研）

「（仮題）除菌済みキウイフルーツ花粉が無害化されていることの確認」（15:00～15:30）

生咲 巖（香川農試府中果樹研）

2）（自由発表）各県等における研究成果【公開】（1月28日 15:45～、29日 9:00～）

【開催方法について】

今年度の果樹虫害研究会は対面のみで実施されます。オンライン併用のハイブリッド開催ではございませんので、ご留意願います。

【発表課題の募集について】

- 1）発表は学会に準じた形式で行います。質疑応答を含めて1課題あたり重点検討課題が30分、その他の発表は15分程度を予定しています。自由発表への申し込みが多数の場合には、発表数や発表時間を調整させていただきますので予めご了承ください。
- 2）自由発表の演題は研究成果のほか、各研究機関で重点的に取り組んでいること、近年発生が問題となり防除に苦慮している病害など、他県と情報・意見交換をしたい事項など発表内容に制限は設けません。多数の応募を歓迎します。
- 3）自由発表の様式は【別紙 病1】「病害自由発表申込書」のとおりとしますので必要事項をご記入のうえ、E-mailで農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域 須崎浩一（kcsuzaki@naro.affrc.go.jp）までお送りください。要旨の提出期限は令和6年12月25日（水曜日）とします。
- 4）重点検討課題については【非公開】、自由発表は【公開】で開催します。知財等を取得予定の場合には、ご注意ください。また重点検討課題を聴講される場合には「誓約書」への自署をお願いします。誓約書は当日配布しますので、分科会開催前までのサインのうえ、病害会場入口にて会場係までご提出ください。

※ 【別紙 病1】「病害自由発表申込書」は以下のURLからダウンロード可能です。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

果樹虫害研究会

「果樹カメムシ類の動向と今後の対策」

【趣旨】

令和6年度は果樹カメムシ類が全国的に発生し、果樹カメムシ類に関する注意報・警報の発出数が、平成8年に次ぐ多さとなり、また果樹への加害も平成8年以来の28年ぶりの大問題となった。令和6年度のこのような果樹カメムシ類の多発から、今年度の重点検討テーマを「果樹カメムシ類の動向と今後の対策」として取り上げる。果樹カメムシ類の多発は過去何度も繰り返され、本研究会でも令和4年度に重点検討テーマとして採用されたが、いまだに対策としては飛来したカメムシに対する殺虫剤散布、物理的に遮断する多目的防災網や袋掛け等の手法に限られているのが現状である。現在、スギ、ヒノキでは花粉の少ない苗木への植え替えが進みつつあり、スギ・ヒノキが発生源となる果樹カメムシ類の今後の動向への影響が考えられる。このことから、果樹カメムシ類の発生源となるスギ・ヒノキの今後の見通しや、発生源における動向に関する話題提供を行う。

また、本年度多発した果樹カメムシ類の各樹種における発生や被害、取り組みについても話題提供を行い、情報交換を行う。さらに、各県等における最近の課題では、令和6年度の果樹害虫発生動向、防除技術、防除に関する問題点などに関わる話題を募り、これにより、新たな問題点などの情報を共有するとともに、その解決方法についても意見交換を行う。

【開催日時】

令和7年1月28日（火）10:00 ～ 1月29日（水）12:00

【開催場所】

つくば国際会議場（エポカル） 大会議室102

【話題提供】

1. 重点検討テーマ「果樹カメムシ類の動向と今後の対策」

1) (仮)「花粉症対策と関連したスギ・ヒノキの状況や今後の山林対策」

林野庁森林整備部 森林利用課 花粉発生源対策企画班 企画係長 松林 玄悟

2) (仮)「ヒノキ天然林における種子生産とカメムシ類による吸汁被害の年変動」

森林総合研究所東北支所 育林技術研究グループ

野口 麻穂子

3) (仮)「令和6年度の果樹カメムシ類の発生動向」

農研機構植物防疫研究部門果樹茶病虫害防除研究領域検疫対策技術グループ 降幡 駿介

4) (仮) 予察灯による果樹カメムシ類発生予察の効率化検討

奈良県果樹・薬草研究センター 米田 健一

5) (仮) 令和6年度各樹種におけるカメムシ類の発生と被害

- ・カンキツ：愛媛県農林水産研究所果樹研究センター 宮下 裕司
- ・モモ・ブドウ：山梨県果樹試験場 環境部病害虫科 村上 芳照
- ・ナシ：鳥取県 園芸試験場 環境研究室 戸板 重則
- ・カキ：奈良県果樹・薬草研究センター 小島 英
- ・ビワ：千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 角田 ひかり
- ・ウメ：和歌山県果樹試験場うめ研究所 裏垣 翔能

2. 特別講演

「果樹園内外における天敵昆虫類の移動分散（仮）」

農研機構東北農業研究センター畑作園芸領域野菜新作型グループ 下田 武志

「徳島県で新たに発生した果樹害虫について(2000年以降)」

徳島県東部農林水産局次長 兼務 鳴門藍住農業支援センター所長 中西 友章

3. 各県等における最近の課題

令和6年度の果樹害虫発生動向、防除技術、防除に関する問題点などに関わる課題を広く募集する。

【開催方法について】

今年度の果樹虫害研究会は対面のみで実施されます。オンライン併用のハイブリッド開催ではございませんので、ご留意願います。

【発表課題の募集について】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1 課題あたり15分～20分程度を予定しています。申し込み者多数の場合には、発表時間や発表者数を調整させていただきますので予めご了承下さい。
- 2) 内容は特に指定いたしません。各研究機関で重点的に取り組んでいること、新規に発生が認められた害虫、最近増加してきた害虫、防除等での対応に苦慮している害虫、新しい防除技術等々、果樹害虫全般について情報交換・意見交換をしたいことであれば何でも結構です。お気軽にお申込み下さい。
- 3) 発表を希望される方は、【別紙 虫 1】虫害「情報交換」課題発表申込書に必要事項をご記入のうえ、E-mailで農研機構植物防疫研究部門 果樹茶病害虫防除研究領域 新井 朋徳 (gaityuu@naro.affrc.go.jp) までお送り下さい。資料の提出期限は令和6年12月23日（月）です。

※果樹虫害研究会は【公開】の会議です。ご発表により内容が開示された扱いとなりますので、特許等の知財を取得予定の場合には、あらかじめその旨ご承知下さい。

※【別紙 虫 1】虫害「情報交換」課題発表申込書は以下のURLからダウンロード可能です。

URL : <http://www.naro.affrc.go.jp/nifts/contents/kaigi/index.html>

(果樹虫害研究会問合せ先)

〒305－8605 茨城県つくば市藤本2-1

農研機構植物防疫研究部門 果樹茶病虫害防除研究領域 新井朋徳

E-mail: gaityuu@naro.affrc.go.jp TEL: 029-838-6548

寒冷地果樹研究会

「近年の寒冷地果樹関連の成果と課題」

令和7年1月23日（木）9：00～12：00

【趣旨】

寒冷地果樹産地における課題の現状やこれまでの技術開発の取り組みを踏まえ、持続的な発展を可能にする技術体系確立に向けて、情報共有と論議を進めることでより一層の連携と研究推進を図る。

【話題提供】

1. 北海道における近年の成果と課題
2. 青森県における近年の成果と課題
3. 岩手県における近年の成果と課題
4. 宮城県における近年の成果と課題
5. 秋田県における近年の成果と課題
6. 山形県における近年の成果と課題
7. 福島県における近年の成果と課題
8. 群馬県における近年の成果と課題
9. 長野県における近年の成果と課題
10. 富山県における近年の成果と課題
11. 石川県における近年の成果と課題
12. 農研機構果樹茶業研究部門における最近の成果と課題

【発表方法】

- 1) 発表は学会に準じた形式で行い、質疑応答を含めて、1 課題あたり20分程度を予定しています。
- 2) 発表要旨の作成をお願いします。発表要旨は、当日に会場で配布します。発表要旨の様式および提出期限は、事務局より別途お知らせします。

（事務局）

農研機構果樹茶業研究部門 果樹生産研究領域 岩波 宏

Tel: 019-645-6155

E-mail: ringo-fruit@naro.affrc.go.jp